

「一枝の筆」に託して

——徳富蘆花生誕150年——

平成30年1月18日(木)～2月26日(月)

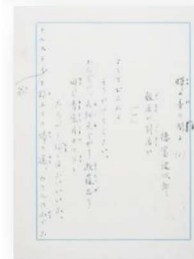
代表作『不如帰』が明治期屈指のベストセラーとなり、『自然と人生』『思出の記』などの作品でも知られる作家、徳富蘆花。明治元年に水俣に生まれ、2歳のとき一家で熊本市に移転した蘆花は、京都の同志社で学んだのち、生涯の多くを東京で過ごしました。

熊本を去るとき21歳だった蘆花は、「何一つ出来ぬ自分にも、拙いながら、一枝の筆がある」と、自らの筆の力を信じ、その力によって歩むことを志して東京へと羽ばたいたのです。実際、58歳で亡くなるまで、蘆花は己の筆によって生き抜いた生涯であったと言えます。

平成30年に蘆花生誕150年を迎えることを記念し、このたび明治の文豪徳富蘆花の作品と生涯をたどる企画展を開催します。この機会に、蘆花が「一枝の筆」に込めてきた思いを感じていただければ幸いです。



▲徳富蘆花肖像
自筆原稿当館所蔵



関連イベント

無料・申し込み不要・先着順

記念講演会

講師 伊藤彌彦氏（同志社大学名誉教授）
演題 「徳富蘆花の告白文学
——狂おしい生き直し人生——」
日時 平成30年1月20日（土）
13：30～15：00
場所 くまもと文学・歴史館 展示室3
定員 50名

講師 木村洋氏（熊本県立大学准教授）
演題 「明治期の文学熱
——徳富蘇峰から徳富蘆花へ」
日時 平成30年2月4日（日）
13：30～15：00
場所 くまもと文学・歴史館 展示室3
定員 50名

新春『不如帰』かるた会

日時 平成30年2月10日（土）13：30～
場所 くまもと文学・歴史館 展示室3
蘆花の代表作『不如帰』の世界をおさらいし、
明治発売の「不如帰歌がるた」に挑戦！

ギャラリートーク（学芸員による展示解説）

日時 平成30年2月17日（土）
13：30～14：00
くまもと文学・歴史館ロビー集合

【お問合せ】熊本県立図書館 学芸調査課（熊本市中央区出水2-5-1） 096-384-5000
【開館時間】9:30-17:15 【休館日】毎週火曜、1/26（金）、2/23（金）